

1. 大学共同利用機関法人：高エネルギー加速器研究機構とは

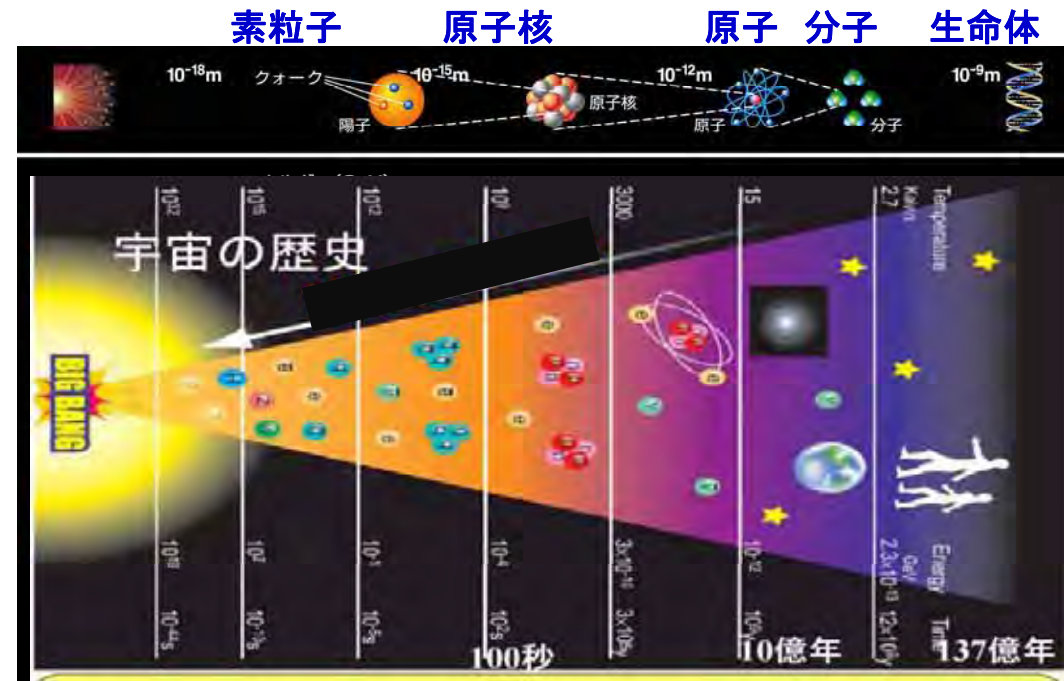
素粒子加速器を用いて
宇宙の起源、
物質の根源・構造
を究明する

設立経緯：

- これからの素粒子研究：
理論と実験の連携が重要
大型素粒子加速器の
建設提案（湯川秀樹、朝永振一郎）
- 日本学術会議で承認



- 東京大学附置原子核
研究所(全国共同利用)
から分離



KEK : 高エネルギー加速器研究機構

電子・陽電子衝突型加速器:KEKB加速器

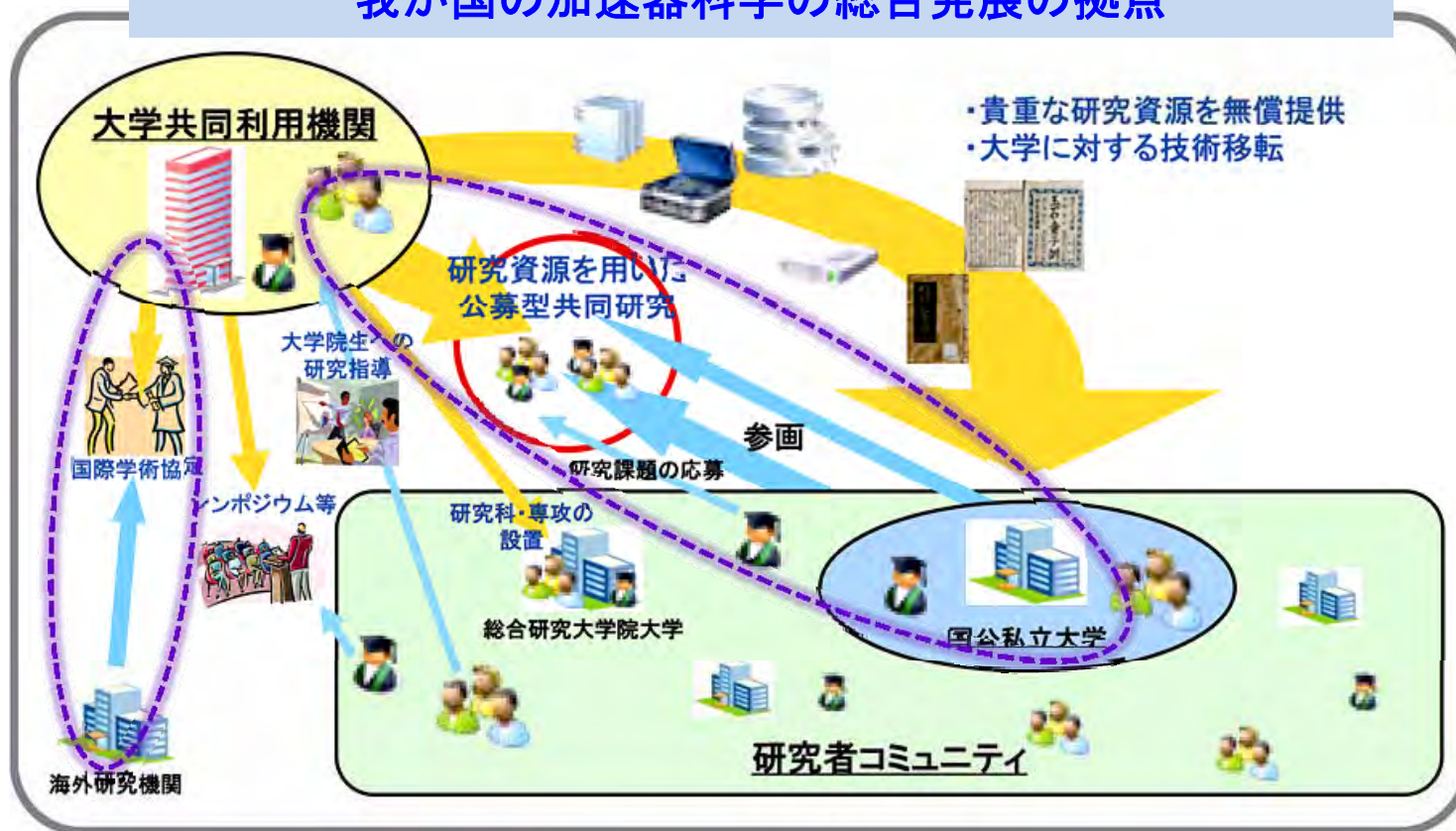
放射光科学研究施設



J-PARC: 東海キャンパス (JAEAとの共同事業) 2

2. 大学共同利用機関法人:高エネルギー加速器研究機構(KEK)

全ての国公立大学の附置研究所の役割を担い、
我が国の加速器科学の総合発展の拠点

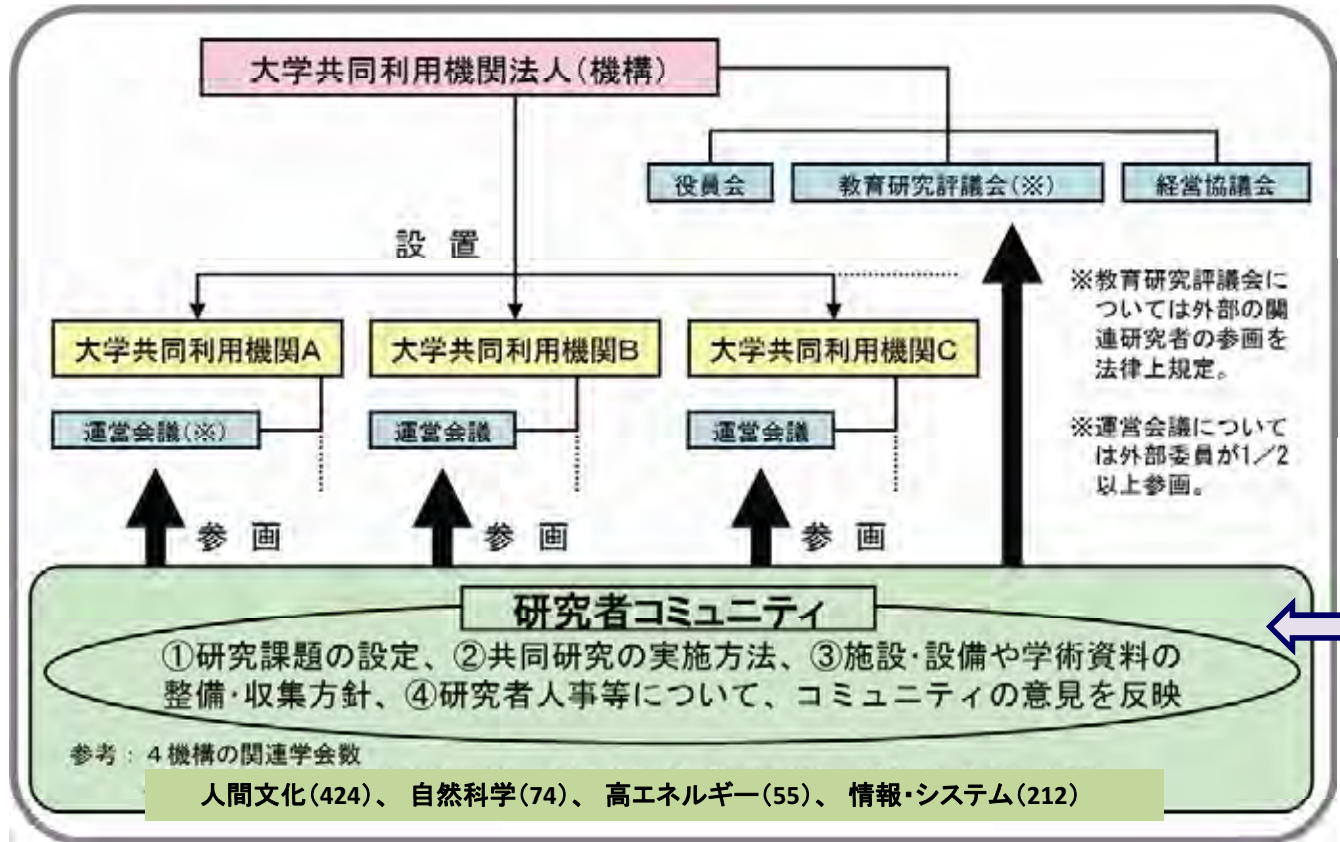


- ◆ 研究目標を実現するために、KEKと大学との連合によって世界で唯一の加速器、実験装置を開発し、国内・国際共同研究を推進する。
- ◆ KEKと大学との連合によって、次世代の研究を担う若手人材を育成する。
(常に世界を先導するには、研究の継続性と人材育成が必須)

—研究方針、研究課題の決定—

研究者コミュニティの総意に基づき
ロードマップを作成し、
研究方針を決定

国際評価委員会



国際
プログラム
アドバイザー
委員会

—組織運営—

教育研究評議会、各研究所・施設の運営会議、人事委員会の構成員：
半数が国公立大学教員

3. KEK 大強度素粒子 加速器の世界拠点



KEKB:
電子・陽電子衝突加速器



J-PARC:
大強度陽子加速器

改造

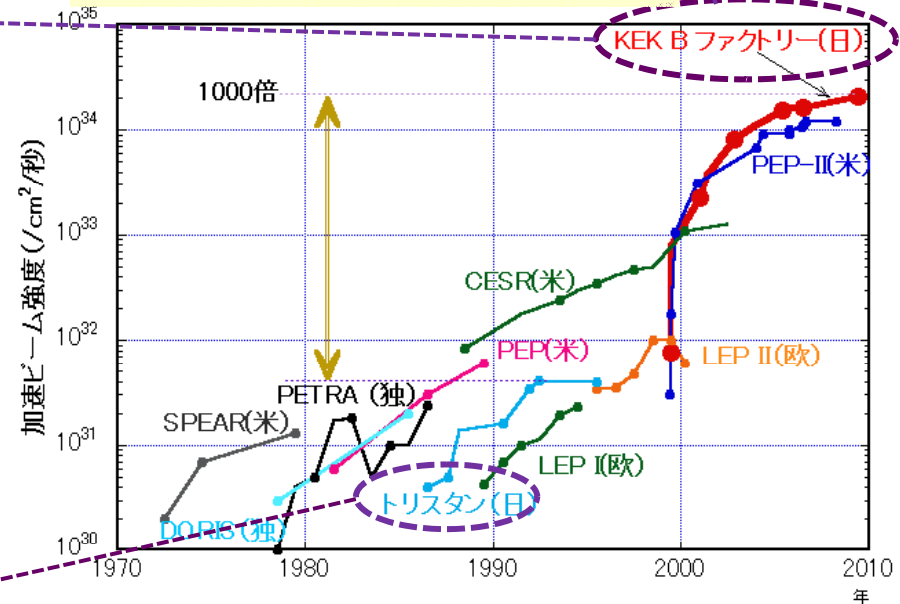


トリスタンを改造した
KEKB加速器で
世界最高ビーム
強度技術を確立
(2005年)



トリスタン: 電子・陽電子衝突型加速器
で世界の加速器科学コミュニティに仲間入り
(1986年)

世界最高ビーム強度を達成

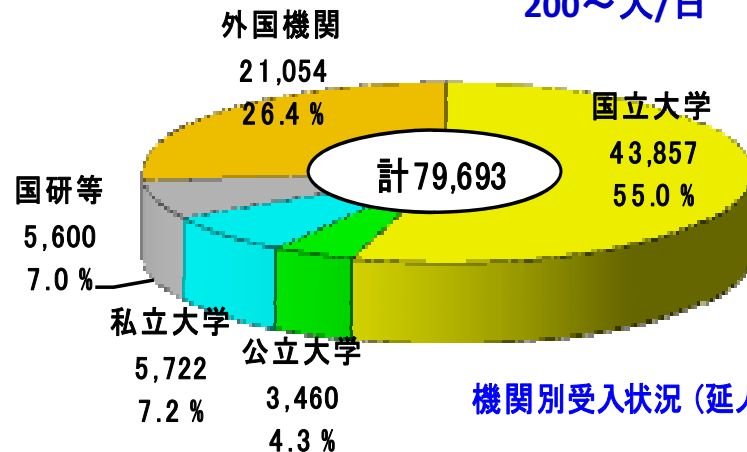


米国・SLACの同様な加速器の性能を大幅に凌駕

4. KEK: 国内・国際共同研究拠点

共同研究者等受入状況
(平成20年度 延人・日)

共同研究者:
200~人/日



機関別受入状況 (延人・日)



平成18年度 国際交流「上位15機関」

受入

	機関名	機関種別	合計	対前年度増減
1	京都大学	国立大学法人	3,954	54.3%
2	東京大学	国立大学法人	2,244	-17.4%
3	高エネルギー加速器研究機構	大学共同利用機関法人	1,534	-28.9%
4	大阪大学	国立大学法人	1,111	11.0%
5	九州大学	国立大学法人	1,091	40.4%
6	東北大学	国立大学法人	1,077	18.4%
7	北海道大学	国立大学法人	988	1.8%
8	自然科学研究機構	大学共同利用機関法人	979	29.8%
9	筑波大学	国立大学法人	977	46.5%
10	産業技術総合研究所	独立行政法人	923	34.5%
10	名古屋大学	国立大学法人	826	-28.6%
12	東京工業大学	国立大学法人	706	-3.9%
13	物質・材料研究機構	独立行政法人	522	15.2%
14	広島大学	国立大学法人	510	-8.6%
15	神戸大学	国立大学法人	487	1.2%
	受入者合計		35,083	0.4%

